

平成28年度防災関連事業計画について（ハード事業）

1. 治水対策事業

■雨水ポンプ場整備事業 予算額 40,000千円

平成28年6月に供用開始。
芳野ポンプ場：場内整備工事

区分	排水量	エンジン	電動ポンプ
計画排水量	Q=9.09 m ³ /S	φ1200mm×3台	φ400mm×2台
第1期事業	Q=6.22 m ³ /S	φ1200mm×2台	φ400mm×2台

■雨水ポンプ場改築事業 予算額 744,608千円

ポンプ場の長寿命化（耐震及び更新）に向けた事業を行う。

堀江ポンプ場：耐震及び更新工事	事業費	40,000千円
豊田川ポンプ場：耐震及び更新工事	事業費	704,608千円

■幹線管渠整備事業 予算額 187,896千円

区分	計画延長	27年度末	28年度	29年度以降
二ツ杵排水区	□1.6m×1.6m ほか L=約590m	L=約426m	L=約90m	L=約50m
下之郷第三排水区	□0.8m～φ1.35m ほか L=約655m	L=約565m		L=約90m
土田排水区	□2.3m×1.5m ほか L=約440m		実施設計	L=約440m

■雨水貯留施設設置事業 予算額 119,100千円

新川流域水害対策計画（47計画・河川分）により雨水貯留施設を全体で「20,330 m³」実施するにあたり、小場塚排水区の枇杷島公園に設置する雨水貯留施設工事、古城小学校に設置する雨水貯留施設工事のための詳細設計を行う。

【47計画・河川分の実績】

計画量 ①	実施済み ②	未整備量 ①-②	進捗率 ②/①
20,330 m ³	15,830 m ³	4,500 m ³	77.8%



施設名	地区	調整方法	容量
し尿処理場施設内調整池	新川	オープン調整池	5,085 m ³
清洲インターチェンジ部調整池	清洲	オープン調整池	4,127 m ³
中沼101号	春日	地下貯留	940 m ³
名高速高架下調整池	西枇杷島	地下貯留	835 m ³
助七公園貯留地	新川	地下貯留	293 m ³
夢の森保育園	春日	オープン調整池	200 m ³
ネギヤ保育園	春日	オープン調整池	150 m ³
清洲城広場	清洲	地下貯留	2,500 m ³
新川西部浄化センター	西枇杷島	地下貯留	1,200 m ³
上新公園	西枇杷島	オープン調整池	500 m ³

2. 公共施設の耐震化事業

■橋梁維持費 予算額 44,000千円

学校橋及び落合歩道橋について、耐震補強及び補修工事を行う。

【施設概要】

学校橋	所在地／春日新田畑	延長／68.8m
	構造／コンクリート橋	架設年度／平成4年
落合歩道橋	所在地／春日須ヶ田	延長／66.6m
	構造／コンクリート橋	架設年度／昭和47年

【改修内容】

橋梁耐震補強補修工事

学校橋：落橋防止（緩衝チェーン、PCケーブル）、ひび割れ補修工など

落合歩道橋：落橋防止（鋼製突起）、橋座拡幅（RCブラケット）、塗装塗替など

3. 避難所関連事業

校舎長寿命化等改修事業 予算額 39,206千円

学校施設の安全性を確保し、機能向上を図るため、清須市学校施設長寿命化計画に基づき、工事優先度の高い建築後40年以上経過した校舎から順次、長寿命化改修を実施する。平成28年度については、西枇杷島小学校及び清洲小学校の長寿命化改修工事の実施設計を行い、平成29年度より改修工事を実施する予定。

小学校：西枇杷島小学校・清洲小学校

4. 防災行政無線（同報系）屋外子局の増設工事 予算額 9,270千円

防災、災害時及び行政連絡のために使用する防災行政無線（同報系）であるが、現在春日新橋西土地区画整理地区及び土田土地区画整理地区が空白地区となっている。空白地区を解消するため、屋外子局の増設工事を行う。

5. 災害対策本部室整備事業 予算額 36,515千円

市民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、増築庁舎に高次の機能を有した、災害対策本部室を整備し、防災機能を高め、迅速な災害対応を図る。

6. 災害時医療救護所用シェルター型テント購入事業 予算額 4,121千円

災害時に、医療救護所を開設する場合、建物倒壊等で屋内での処置ができない等不測の事態に備え、迅速かつ円滑な医療救護活動の実現を図るため、仮設救護所用シェルター型テントを配備する。

平成28年度防災関連事業計画について（ソフト事業）

1. 自主防災組織強化事業

■自主防災活動支援費

予算額 7,478千円

自主防災会のブロック化を推進し組織力を強化するため、自主防災会への支援を実施する。

(1)自主防災組織補助金（平成27年度～29年度の3か年で実施）

内容 ソフト事業…手づくりハザードマップの作成、研修会・講演会への参加・開催
ハード事業…消火器等の新規購入や買替、防災資機材の購入

補助限度額 50万円 補助率 4/5

(2)消火器薬剤の購入に関する補助金

訓練や消火活動に使用した消火器の薬剤の詰替にかかる費用の補助

補助率 100%

2. 防災訓練

■総合防災訓練（9月3日（土））

予算額 1,306千円

会場 庄内川水防センター周辺〔予定〕

訓練内容 被害状況収集訓練、倒壊家屋救出訓練、救護所設置訓練、給水訓練、炊き出し訓練等

参加機関 広域消防署、市消防団、防災協力会、自衛隊、赤十字奉仕団、自主防災会等

■自主防災訓練

安心して暮らせる事業 200円×世帯数

3. 地域防災リーダー養成講座

■委託料

予算額 374千円

災害の被害を最小限に食い止め、地域防災力を向上させるため、地域防災リーダーとして養成する。地域の自主防災活動を通じて、防災・減災対策活動（危険箇所の把握等）を行っていただき、特に災害時には、避難所の運営に率先して携わっていただく人材を養成することを目的とする。

また、地域防災リーダー養成講座の修了者を対象にフォローアップ講座も行う。

●養成講座

開催日時 第1回 平成28年4月24日（日）午前9時～正午

内容 講義及びグループワーク

講師 レスキューストックヤード 浦野 愛 氏

第2回 平成28年5月14日（土）午前10時00分～11時30分

内容 講演会（防災講演会を兼ねる）

講師 名城大学 教授 柄谷 友香 氏

第3回 平成28年7月10日（日）午前9時～正午

内容 講義及びグループワーク（避難所運営訓練〔HUG〕）

講師 レスキューストックヤード 浦野 愛 氏

会場 清洲市民センター

参加人員 43名

●フォローアップ講座

- 開催日時 第1回 平成28年5月14日(土) 午前10時00分～11時30分
 内容 講演会(防災講演会を兼ねる)
 講師 名城大学 教授 柄谷 友香 氏
- 第2回 平成28年11月27日(日) 午前9時00分～正午
 内容 講義「地域防災リーダーとしての地域での活動」
 ※リーダーとして自主防災訓練の企画や今後の防災・減災活動の術を学ぶ。
 講師 レスキューストックヤード 浦野 愛 氏
- 第3回 平成28年12月18日(日) 午前9時～正午
 内容 講義及びグループワーク「発災時に起きた事案検討」
 ※過去の災害で発生した事案をどのように対応するか検討し、他のグループと意見交換を行う。
 講師 レスキューストックヤード 浦野 愛 氏
- 会場 清洲市民センター
 参加人員 29名(平成26年度～28年度の受講者)

4. 地域防災計画策定(改訂)事業

■地域防災計画策定費(継続事業) 予算額 5,649千円

東日本大震災の発生を受け、想定外力の引き上げを行うべく、愛知県防災計画の被害予測が、平成26年5月30日の愛知県防災会議にて発表された。清須市においては、最大震度が7、死者200人、建物倒壊等が3,900棟の被害が予想されている。ついては、愛知県の計画変更を受け、市民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、市の有するすべての機能を十分に発揮するための計画策定(改訂)を行う。

5. 耐震診断・耐震改修事業

■民間木造住宅耐震診断費 予算額 1,852千円

地震による家屋の倒壊等の被害を軽減するため、昭和56年5月31日以前に着工された旧基準民間木造住宅の無料耐震診断を実施する。

計画戸数	40戸
診断内容	現地調査、一般的補強アドバイスと改修工事を行うときの目安となる工事費の説明

■民間木造住宅耐震改修費 予算額 10,000千円

地震による家屋の倒壊等の被害を軽減するため、昭和56年5月31日以前に着工された旧基準民間木造住宅の耐震化を支援する。

計画戸数	10戸
補助対象	判定値が1.0未満⇒1.0以上となる耐震改修工事等
補助金	100万円(身体障害者手帳の1・2級又は療育手帳のA種の方が世帯にいる場合は130万円)

■住宅耐震改修相談会 予算額 53千円

愛知建築士会会員を相談員として、耐震改修に関する相談会を開催する。

日時：平成28年10月7日(金) 午前10時～午後5時

会場：市役所本庁舎3階第2会議室

- 耐震シェルター・防災ベッド購入補助 予算額 1,500千円
 木造住宅の1階に安全な空間を確保するために設置する、耐震シェルター・防災ベッドの設置費用を補助する。
 ○耐震シェルター・・・補助限度額30万円×3件
 ○防災ベッド・・・補助限度額30万円×2件
 ※補助対象等の詳細は、愛知県の補助要綱等を参考とする

6. 備蓄物資の整備

- 備蓄食料購入費 予算額 2,484千円
 ○おこげ・・・1,800食 ○クラッカー・・・5,600食
 ○ビスコ・・・3,000食 ○粉ミルク・・・960回分
 ○飲料水・・・2,400本

7. 危機管理体制強化事業

- 予算額 4,718千円
 危機管理や災害応急対応のスペシャリストである自衛隊OBを、引き続き雇用する。
 ○勤務体制 週4日(31時間)
 ○主な業務 災害発生時…災害対策本部の運営(自衛隊関係機関との連絡調整業務)
 危機管理…危機管理体制の見直し{地域防災計画、BCP(業務継続計画)}
 災害対処…自主防災組織活性化業務(自主防災訓練指導など)

8. 東日本大震災被災自治体の支援

- 福島県広野町への職員派遣を継続〔5年目・1年間〕
 宮城県東松島市への職員派遣を継続〔3年目・1年間〕

